

ラグビーの競技人口を増やそうと、岡山県の美作地域を拠点に活動するラグビースクールが小学校を巡回する体験教室を始めました。記事を読み質問に答えましょう。

てい がく ねん  
 低学年も  
 チャレンジ!

Q1

今年(ことし)はラグビーのワールドカップ(W杯) フランス大会(たいかい)があり、競技(きょうぎ)に注目(ちゅうもく)が集まりました。みんながラグビーについて知っていることを三つ書いてみよう。

Q2

10月(がつ)には勝央町(しょうおうちょう)の小学校(しょうがっこう)で指導(しどう)を行いました。児童(じどう)は当初(とうしょ)何(なに)に苦戦(くせん)しましたか。第2(だい)、第3(だい)段落(だんらく)を参考(さんこう)に答(こた)えてみよう。

美作 勝央

# ラグビー楽しさ知って

ラグビーの競技人口を増やそうと、美作ラグビースクールは、勝英地域の小学校を巡回する体験教室を始めた。コーチが3、4年生にパスなどのコツを教え、プレーの楽しさを伝えている。(常井智之)



並んでパスをつなぐ勝間田小の児童たち  
 10月30日

10月27、30日は勝間田小(勝央町勝間田)で3、4年生約120人を指導。児童たちは正面から鬼が迫る変則ルール(変則ルール)の鬼ごっこで相手(あいて)をかわすフットワークを学び、7、8人のチームで横に並んでパスワークを実践した。当初(当初)は斜め後ろに出すパスに苦戦。コーチから「味方の動きを考え、取りやすいように投げよう」とアドバイスを受け、チームごとに並び方などを工夫してボールをつないだ。4年の赤木心音(あかきしんね)さん(10)は「みんなと進む

スピードを調整してパスを出した」、橋本侑愛(はしもとゆうあい)さん(10)は「協力する大切さが分かった。またやってみよう」と話した。教室は12月までに美作市の勝田小、美作第一小でも予定する。同スクールは、拠点とする美作ラグビーサッカー場(同市入田)が開場した1988年に発足した。多いときには児童が30人以上在籍していたが、現在は12人。新たな仲間を募っている。問い合わせは市スポーツ振興課(0868⑦2225)。

## 美作スクール 勝英の小学校巡回 走り方、パスのコツ伝授

Q3

スクールは1988年に発足しました。多いときには児童何人(なんにん)いましたか。最後の段落(だんらく)を参考(さんこう)に次の三つから一つを選んで。

- ①30人以上
- ②50人以上
- ③100人以上

過去の問題は  
 こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。